

平成13年度 文学部 授業計画表[syllabus]

地3選・社免歴免選

| 科目名 (英文名) | 都市地理学 Urban Geography | 4単位 | (ふりがな) 担当者 | うち 内田順文 | だより ふみ |
|---|---|------|---|-------------------|-----------|
| 授業のねらいと概要： 現代の都市地理学は、人文地理学の中で最も理論化・体系化された分野だといえます。ですから、地形学や気候学など自然地理学の諸分野と同じく、都市地理学の基礎的な方法論を知らずに都市地理学の研究をすることは、はつきり言ってあり得ません。ようするに、都市関係で卒論を書く可能性のある人は、必ずこの時間を履修し、都市地理学の基本をよく勉強してください。本講義を受講せずに都市地理学の卒論を書くことは、事実上不可能だと考えてもらって結構です。 | | | | | |
| 具体的な内容としては、前半でこれまで都市地理学において蓄積されてきたさまざまな見解の基本的な概念や用語を解説しながら、都市化・都市圏・中心地理論・都市システム・都市住民の行動・時間地理学など、都市地理学の基礎をひととおり教えます。後半はがらりと内容を変え、人文主義的手法を用いて都市を解読する方法を解説しながら、都市の景観や都市の意味などについて考えたいと思いますので、人文主義地理学に興味のある人も、必ず履修して下さい。 | | | | | |
| なお、みなさんがこの講義を受講するための最低必要条件、講義のルール、受講生の評価方法などについて詳しい説明を行いますので、少しでも受講する可能性のある人は、必ず1回目のガイダンス授業に出席して下さい。ガイダンスを聞かなかった人には当講義の履修を遠慮してもらうことがあります。 | | | | | |
| 教科書と参考図書： 高橋、菅野ほか「新しい都市地理学」(東洋書林) | | | | | |
| 評価法： 前期試験(有り)、後期試験(有り)、レポート(無し)受講者の数によって変更することがありますので、詳細については、1回目のガイダンスの時間に決定します。 | | | | | |
| 【授業計画】 | | | | | |
| 回数 | 授業内容とそれに必要な準備 | 回数 | 授業内容とそれに必要な準備 | | |
| 第1回 | 講義内容についての説明と受講に際しての注意 都市地理学とは何か？ 地理学史の概説:計量革命と都市地理学 | 第13回 | 都市空間の知覚 認知地図、選好地図 都市のイメージ | | |
| 第2回 | 都市の概念(1) 都市とは何か？ 都市の定義 都市の本質的機能とは？ | 第14回 | 都市住民の行動(1) 消費者行動論 都市内の居住移動 | | |
| 第3回 | 都市の概念(2) 産業革命以前の都市と以後の都市 現代の都市の概念と本質 | 第15回 | 都市住民の行動(2) 時間地理学(タイムジオグラフィ)とは何か？ 時間地理学の基本概念 | | |
| 第4回 | 都市化とそのメカニズム(1) 都市化とは何か？ 都市化の解釈と定義 都市化の要因と展開 | 第16回 | 都市問題と都市計画 現代の都市がかかえる問題 都市工学・建築学の視点から見た都市 | | |
| 第5回 | 都市化とそのメカニズム(2) 都市化の発展段階論 現実の都市化とその問題点 | 第17回 | 人文主義地理学の視点から見た都市 人文主義地理学とは何か？ 都市を「読む」とはどういうことか？ | | |
| 第6回 | 都市の中心性と都市圏(1) 中心地理論とは何か？ クリスターの中心地理論 | 第18回 | 都市の景観とその意味の解釈(1) 水都大阪の都市構造と風景 浮世絵『浪花百景』を読む | | |
| 第7回 | 都市の中心性と都市圏(2) 都市の機能と都市圏 通勤通学圏・交通圏と都市圏 | 第19回 | 都市の景観とその意味の解釈(2) 江戸の「不思議の場所」:江戸の都市構造と異界 異界とは何か？ 都市と怪異現象 | | |
| 第8回 | 都市の中心性と都市圏(3) 小売・サービス圏と都市圏:商圈と購買圏 商圈:商業地理学との接点 | 第20回 | 都市の景観とその意味の解釈(3) 帝都東京の意味的構造 江戸川乱歩『怪人二十面相』を読む | | |
| 第9回 | 都市システム(1) 中枢管理機能圏のシステム化 都市の順位規模法則 | 第21回 | 都市の景観とその意味の解釈(4) 東京近郊の意味的構造:原風景としての山の手 『サザエさん』と『ドラえもん』を読む | | |
| 第10回 | 都市システム(2) 日本の都市群システムの実例 日本の都市システムの歴史的展開 | 第22回 | 戦後日本における都市化の意味の解釈(1) 高度経済成長と農村の変貌 横溝正史『獄門島』を読む | | |
| 第11回 | 都市の内部構造(1) 同心円モデル・扇形モデル・多核心モデル 日本の都市の内部構造 | 第23回 | 戦後日本における都市化の意味の解釈(2) 高度経済成長と戦前型家族社会の崩壊 小津安二郎『東京物語』を読む | | |
| 第12回 | 都市の内部構造(2) 社会地区分析(因子生態研究)について 和歌山市の事例 | 最終回 | 人文主義地理学の視点から見た都市:まとめ 現代の都市がもつ意味とは？ 現代都市とヴァーチャルリアリティー | | |